

小笠原秀實 こしかわひであき 折學者、歌人。明治十八年一月一日愛知縣生れ、
昭和二十二年十一月十六日歿（六五―九五六）。號思安、思菴、筆名思
山村青（一）。明治四十二年東京帝國大學文科大學美術學科卒。

編著書『宗祖觀』（編、明治四十四年四月、二十五日京都・自刊）、『近
代思想原論』（大正十五年六月十五日弘道閣）、『想像論』（昭和十

四年六月六日京都・東進書院）、『聖徳太子の國家統制』（昭和十五
年五月二十五日東京典籍刊行會「道京講座」）、『體認の哲學』（昭

和十八年七月二十日有光社）、『萬葉の思辨學的探究』（昭和十八年
八月十日三省堂）、『古人の祭見の草』（昭和十八年九月十五日三省

堂）、『禪文化の體系』（昭和十九年八月二十日昭森社）等。

